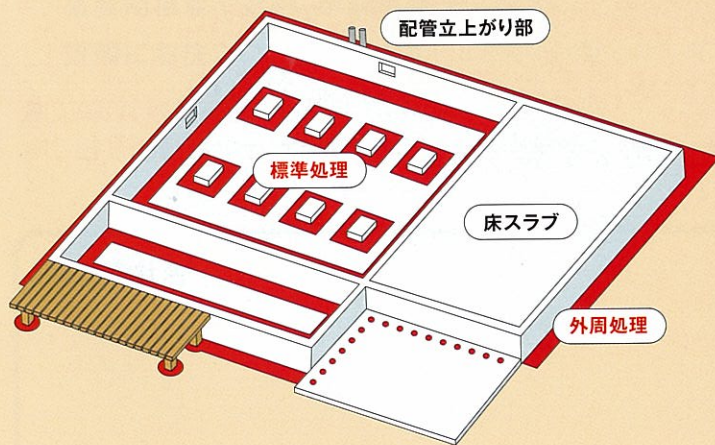
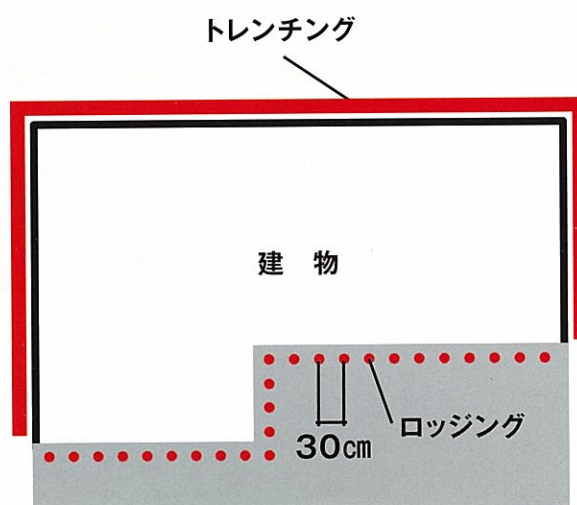


標準処理仕様と外周処理仕様の併用

今回施工する薬剤処理の方法は、シロアリの防除に有効であり、効果的な仕様となっています。なお、シロアリ薬剤の認定、施工会社の登録、シロアリ防除士資格の試験並びに認定を行っている(社)日本しろあり対策協会の「防除施工標準仕様書」には、「シロアリ薬剤(土壌処理剤)は原則として建築物の基礎に囲まれた床下の土壌を対象とする。さらに、建築物の外周の防除処理が必要な場合には、薬剤が外部に流出しないような方法で行う。」と明記及び指示されていますので、下記に説明する外周処理仕様に従い施工いたします。

外周処理施工は、右図のように、家屋の基礎外側に薬液を処理することにより、シロアリが家屋の外側から侵入することを防ぐことを目的とした施工方法です。対象物件は、一体型基礎を持つ住宅、空気循環型住宅、集合住宅など床下に処理できない物件です。施工方法はトレンチング法(溝処理法)、ロッキング法(土壌注入法)の2種類があります。薬剤は、**アジェンダ[®]SC** または、**アジェンダ[®]MC** を使用します。



防除対象物件が、

- 駆除処理の場合
- 周辺地域のシロアリの密度が高い場合
- 標準処理仕様あるいは外周処理仕様だけでは不十分な場合

左図のように、(社)日本しろあり対策協会の標準仕様と外周処理仕様を併用して施工いたします。

使用する薬剤の特徴

この仕様では、**アジェンダ®SC** または **アジェンダ®MC** を使用します。

非忌避性

忌避性がないため、
予防および駆除効果に
優れています。

高い安全性

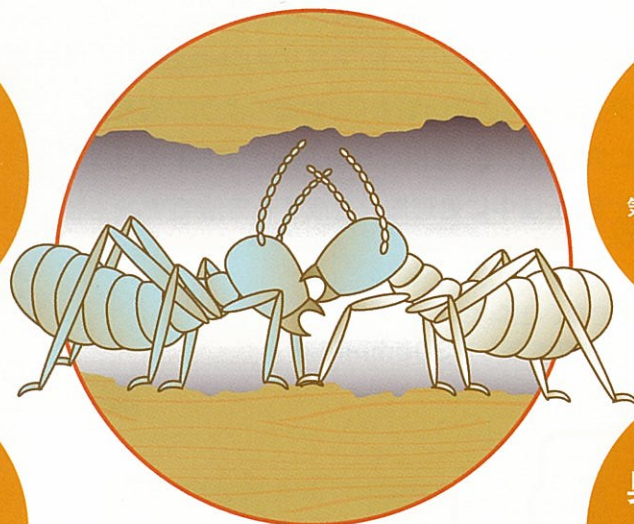
散布中・散布後の
気中濃度が低く、施工者、
居住者にも安全です。

長期残効性

安定した成分のため
長期間効果を発揮します。

臭いが少ない

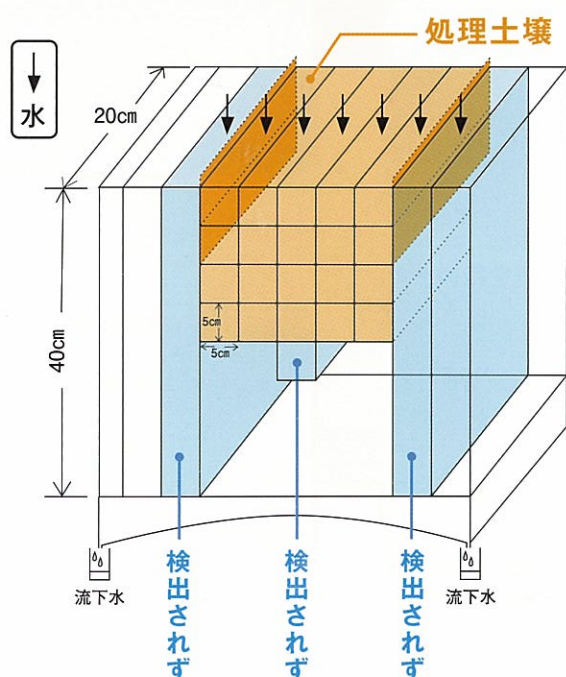
極めて臭いが少ない
製剤です。



驚異のドミノ効果で巣ごと退治

遅効性なので、仲間のシロアリに薬剤を
次々と伝播して確実な防除効果を発揮します。

土壌中移行性



アジェンダSC

左図の通り、有効成分フィプロニルは
100%処理土壌に残存しており、
移行は認められませんでした。
また流出した水分からも検出されませんでした。

アジェンダMC

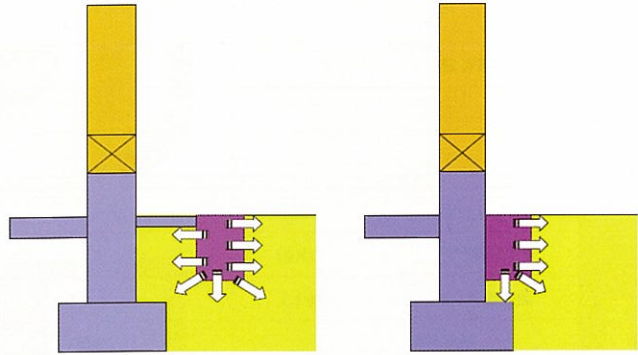
アジェンダSC同様、
移行性は非常に小さく、流出した水分からも
有効成分フィプロニルは検出されませんでした。

(技術資料参照)

外周処理仕様

トレンチング処理(溝処理)

対象の基礎の仕様・形状に応じてそれぞれ対策を講じます。右図のように、基礎に沿って土壌中に処理層を形成する方法です。また、犬走がある場合は、その外側に処理層を形成する方法も取ることができます。



1

幅15cm、深さ20cm以上の溝を掘ります。



2

溝全体へ、アジェンダSCまたはアジェンダMCの希釈液を、掘った溝の壁面に向かってまんべんなく処理をします。



3

掘り起こした土壌を一緒に埋め戻しながら5L/mとなるように処理をします。

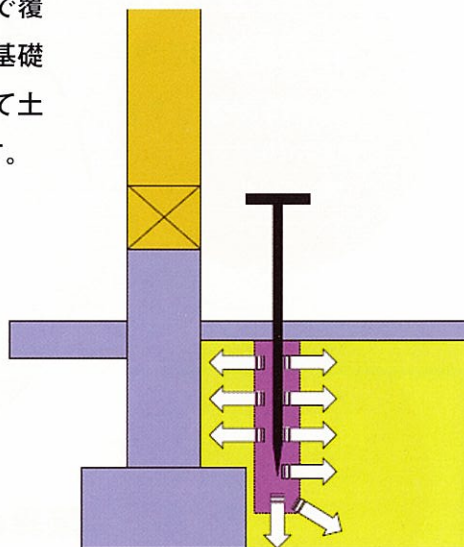
※基礎が深い場合には、掘った溝の底からロッキング処理をし、②同様、埋め戻しながら処理をします。



外周処理仕様

ロッキング処理(土壌注入処理)

対象の基礎の仕様・形状に応じてそれぞれ対策を講じます。基礎の外側が溝を形成できない土壌や、コンクリート、アスファルトなどで覆われていて、トレンチング処理ができない場合は、右図のように、基礎の立ち上がり部の近くに穴を開けて、専用の注入機などを用いて土壌へ注入処理をすることで、土壌中に処理層を形成する方法です。



1

トレンチング処理のできない土壌やコンクリート、アスファルトなどをドリル等を使って30cm間隔で穴を開けます。



2

溝全体へ、アジェンダSCまたはアジェンダMCの希釈液を、1穴あたり1.5L~1.7Lの割合(5L/m相当)で注入処理を行います。



3

処理後は、雨や光などが直接当たらないように、穴を塞ぎます。

使用する薬剤の特徴

商品名			アジェンダSC	アジェンダMC
概 要	有効成分		フィプロニル	フィプロニル
	剤型		フロアブル剤(SC)	マイクロカプセル剤(MC)
	有効成分濃度		9.1%	2%
	希釈倍率		300倍	100倍
	散布液中有効成分濃度		0.03%	0.02%
	認定登録	(社)日本しろあり対策協会	第3486号	第3509号
		(社)日本木材保存協会	A-4220	A-4239
製 剤 の 安 全 性	急性経口(ラット、LD50 mg/kg)		♂ < 1183、♀ 2369	♂ ♀ > 5000
	急性経皮(ウサギ、LD50 mg/kg)		♂ ♀ 2000	♂ ♀ > 5000(ラット)
	急性吸入(ウサギ、LC50 mg/L)		♂ ♀ 1.7	—
	眼刺激性(ウサギ)		極軽度の刺激あり	極軽度の刺激あり
	皮膚刺激性(ウサギ)		極軽度の刺激あり	刺激性なし
	皮膚感作性(モルモット)		感作性なし	感作性なし
	魚毒性		SC(原体)/コイ0.34ppm (LC50、48時間) SC(原体)/ミジンコ < 1ppm (LC50、3時間)	コイ750mg/L (LC50、96時間) オオミジンコ34μg/L (EC50、48時間)